2022年3月期（連結）

決算説明会

2022年5月31日

株式会社 不動テトラ

本日の配布資料

株式会社 不動テトラ

（ご説明資料）

- **2022年3月期（連結） 決算説明会**

【 目 次 】

1. 中計進捗状況
2. 全社業績
3. セグメント別業績
4. 中期経営計画１年目の振り返り
5. 投資・資本政策
6. 主な完成工事と受注工事
7. トピック

（ご参考資料）

- **2022年3月期 決算短信（連結）**
- **2022年3月期（連結）決算補足説明資料**
- **CSRレポート**

中期経営計画の進捗状況

株式会社 不動テトラ

◆ 中期経営計画（2021～2023年度）の概要

○基本方針

①持続的な成長に向けた戦略的投資及び事業領域拡大を促進する
②経営理念を基盤としたESG（環境・社会・ガバナンス）経営の実践により社会に貢献する企業グループを目指す
③資本コストを意識した経営を実践する

○数値目標（連結ベース）

	中期経営計画（2021～2023年度）	**2021年度の目標**	**2021年度の成果**
業績目標	3ヵ年での営業利益 120億円以上	営業利益 38億円	営業利益 33億円
資本効率目標	自己資本当期純利益率（ROE） 8.0%以上	自己資本当期純利益率（ROE） 8.0%以上	自己資本当期純利益率（ROE） 7.0%
株主還元目標	配当性向 40%程度	配当性向 40.0%程度	配当性向 44.4%予定

全社業績（連結）

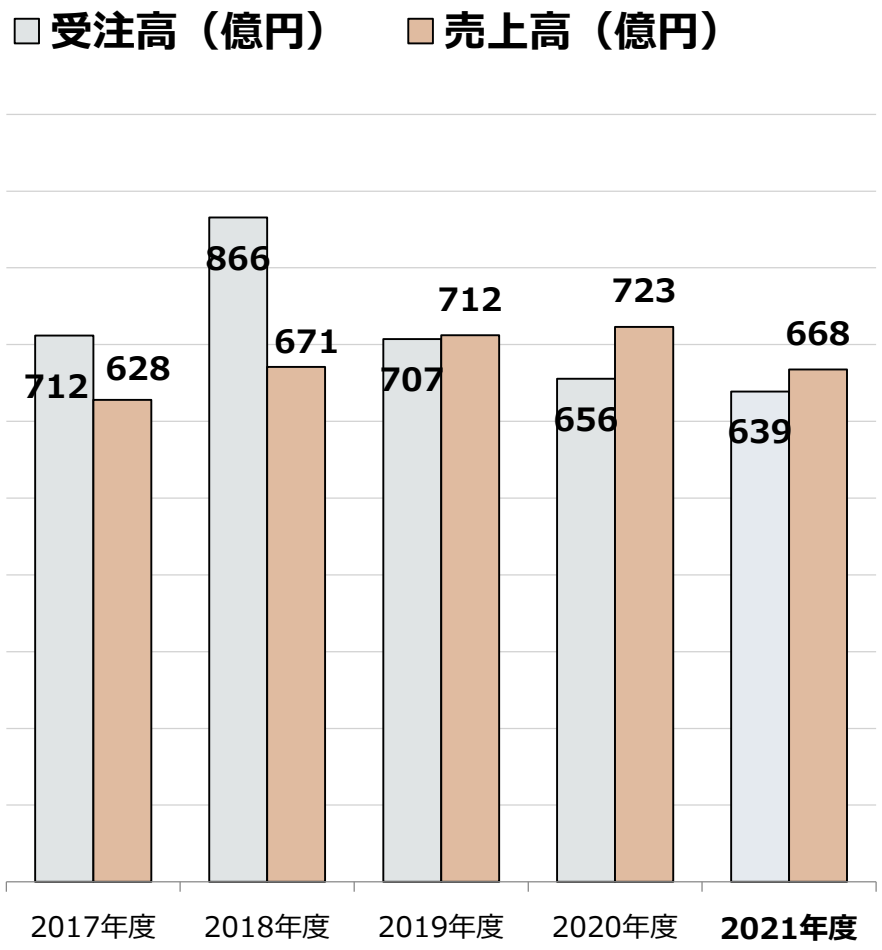
当社グループの業績につきましては、
期首手持ち受注高は700億27百万円（前期比8.8%減）と高水準な状況が続いたものの、
受注高が639億円（前期比2.5%減）と減少したことに加えて、工事の着工遅れ・中断等があり
売上高は668億円（前期比7.6%減）と減収となりました。
これにより営業利益は32億97百万円（前期比27.0%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は20億63百万円（前期比31.0%減）それぞれ減益となりました。

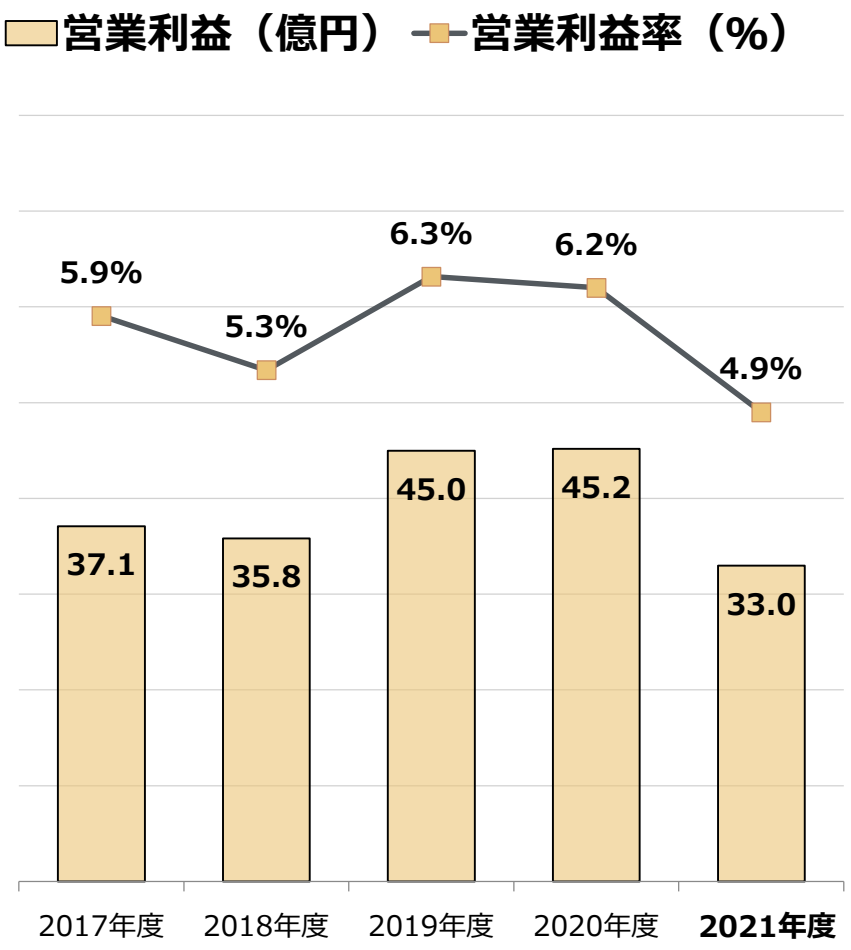
（単位：億円）

指標	中期経営計画			実績	計画
	2021年度	2022年度	2023年度	2021年度	2022年度
期首手持ち受注高	700	640	587	700	671
受注高	690	724	776	639	760
売上高	750	777	809	668	790
営業利益	38	39	43	33.0	39.4
（率）	5.1%	5.1%	5.3%	4.9%	5.0%
当期純利益	24	26	28	20.6	25.6
ROE	8.0%以上			7.0%	8.3%

全社業績（連結）

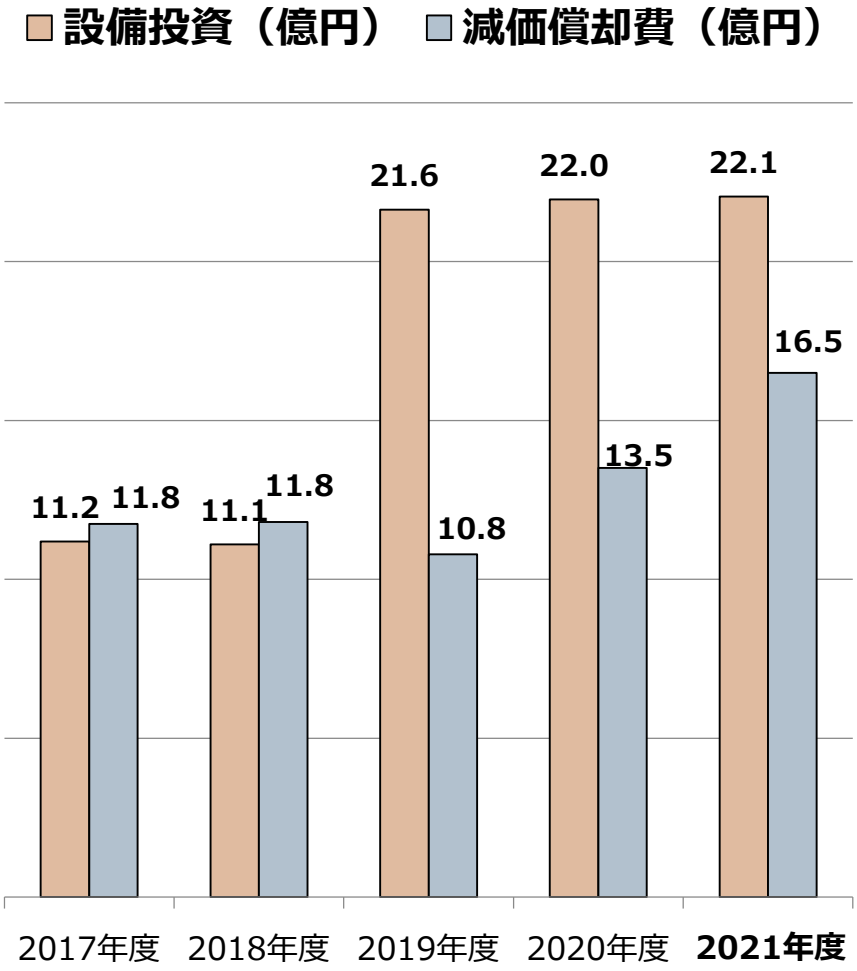
株式会社 不動テトラ

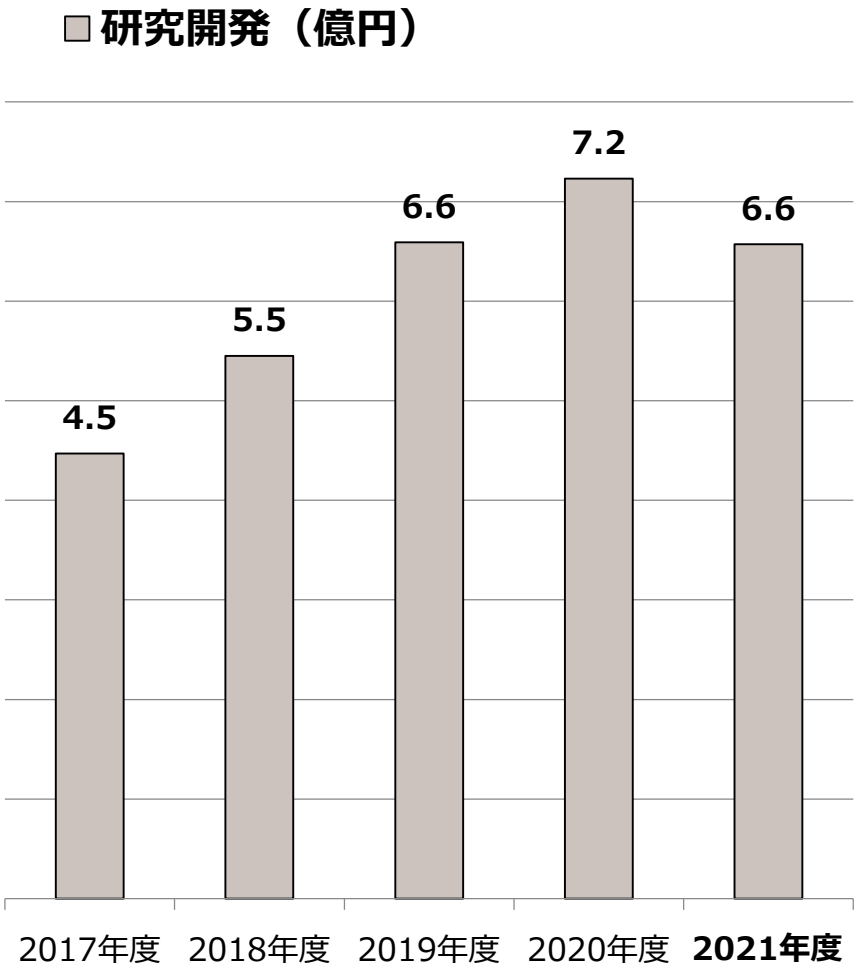




全社業績（連結）

株式会社 不動テトラ

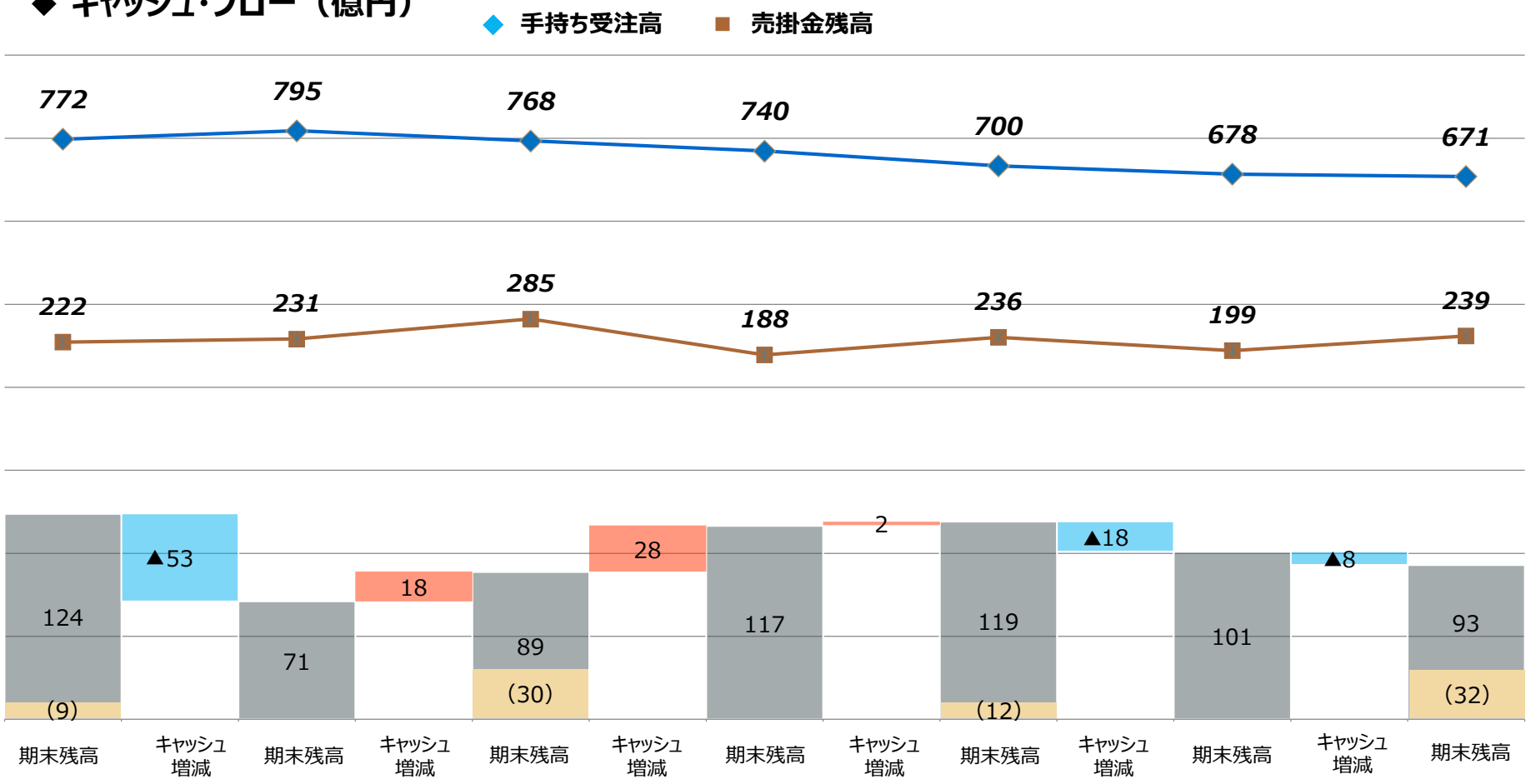




全社業績（連結）

株式会社 不動テトラ

◆ キャッシュ･フロー（億円）



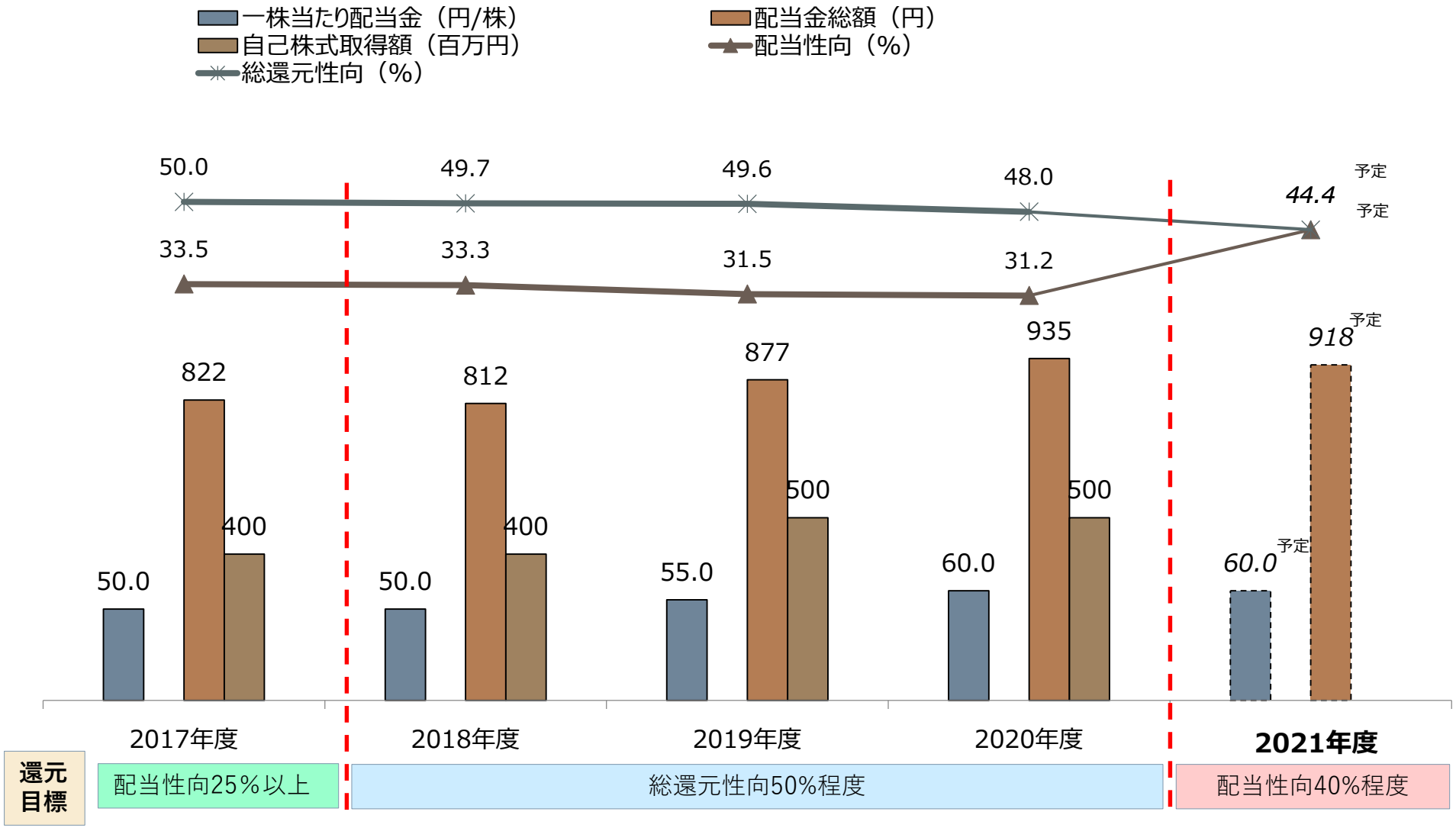
下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
2019年3月期	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	

･･･借入金残高

全社業績（連結）

株式会社 不動テトラ

◆ 株主還元の状況



セグメント別業績

株式会社 不動テトラ

（単位：億円）

100	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績
期首手持ち受注高	**494**	**578**	**772**	**768**	**700**
土木事業	308	413	600	625	573
地盤改良事業	181	163	170	143	130
ブロック事業	5.7	2.2	4.6	4.0	4.0
受注高	**712**	**866**	**707**	**656**	**639**
土木事業	376	511	367	305	279
地盤改良事業	308	321	305	314	325
ブロック事業	28	35	36	44	35
売上高	**628**	**671**	**712**	**723**	**668**
土木事業	271	324	342	356	321
地盤改良事業	326	314	332	328	316
ブロック事業	31	32	37	44	37
売上総利益	**111**	**108**	**120**	**125**	**110**
（率）	**(17.7%)**	**(16.1%)**	**(16.8%)**	**(17.3%)**	**(16.4%)**
土木事業	35	32	34	43	32
（率）	(12.9%)	(9.9%)	(9.8%)	(12.1%)	(10.1%)
地盤改良事業	65	62	68	62	58
（率）	(19.9%)	(19.8%)	(20.4%)	(19.0%)	(18.2%)
ブロック事業	13	13	17	22	18
（率）	(41.3%)	(39.5%)	(45.0%)	(50.4%)	(49.8%)
販売費および一般管理費	**74**	**72**	**75**	**80**	**77**
営業利益	**37**	**36**	**45**	**45**	**33**
土木事業	15	11	13	22	10
地盤改良事業	32	27	32	23	19
ブロック事業	▲ 1.7	1.2	4.9	9.9	5.3

※全社計には３セグメント以外の数値及び連結調整額が含まれるため、３セグメントの合算値と全社計は一致しておりません。

（土木事業）

受注高は、国内での競争激化もあり279億円（前期比8.6%減）と減少し、売上高は、受注の減少に加え工事の進捗遅れにより、321億円（前期比9.9%減）と減収となりました。営業利益は、減収や工事の利益率低下により、10億円（前期比55.8%減）と減益となりました。

（地盤改良事業）

受注高は、325億円（前期比3.3%増）と増加したものの、売上高は、工事の着工遅れ等により、316億円（前期比3.6%減）と減収となりました。営業利益は、減収に加え、個別工事の利益率は変わらぬものの、保有の船舶・機械の減価償却費の増加等もあり、19億円（前期比19.5%減）と減益となりました。

（ブロック事業）

受注高は、主力の型枠賃貸が災害復旧需要の一巡により、35億円（前期比20.4%減）となり、売上高は、37億円（前期比15.2%減）と減収になりました。営業利益は、減収や固定費の増加により、5億30百万円（前期比46.4%減）と減益となりました。

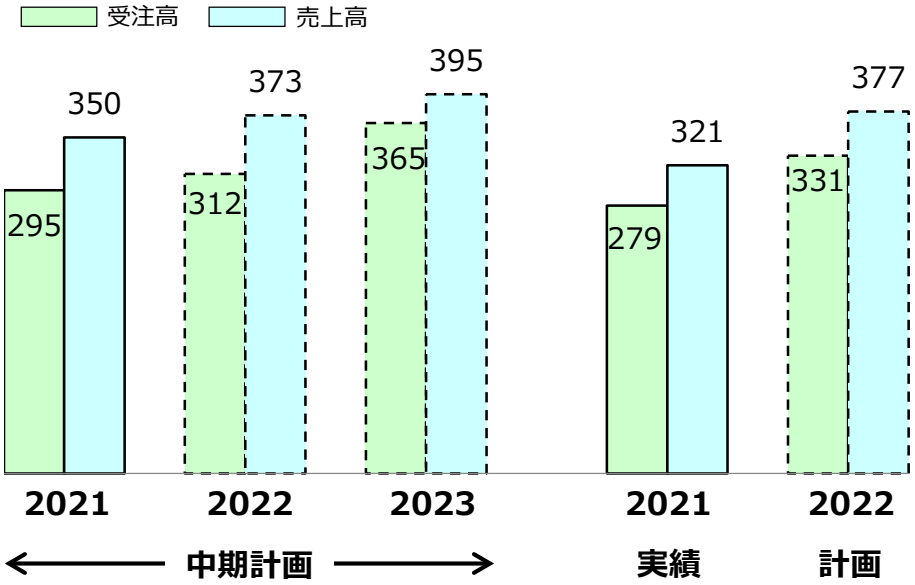
土木事業

株式会社 不動テトラ

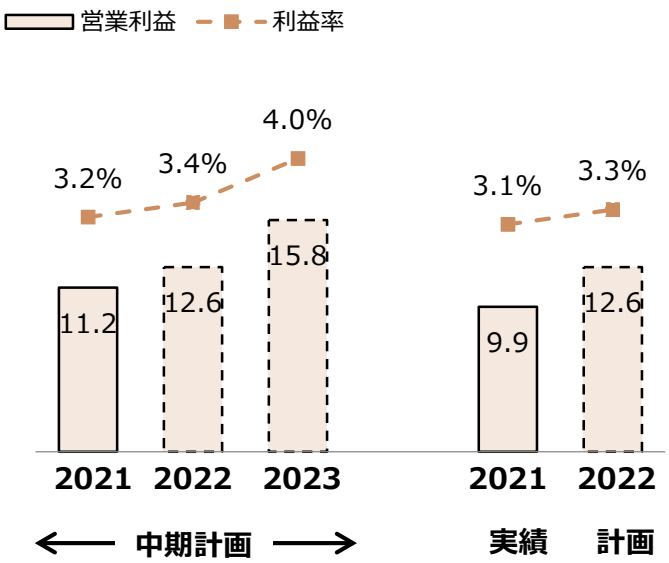
事業方針	長期安定性の確保　（受注、利益、人員）～「守り」から「攻め」へ～
主な事業戦略	➤ 事業規模の拡大 ➤ 戦略的パートナーシップの構築 ➤ 採用（人的投資） ➤ 働き方改革 ➤ 採算性の向上 ➤ 研究開発/設備投資 ➤ 教育

◆ 年度別数値目標　（単位：億円）

【 受注高･売上高 】



【 営業利益･率 】



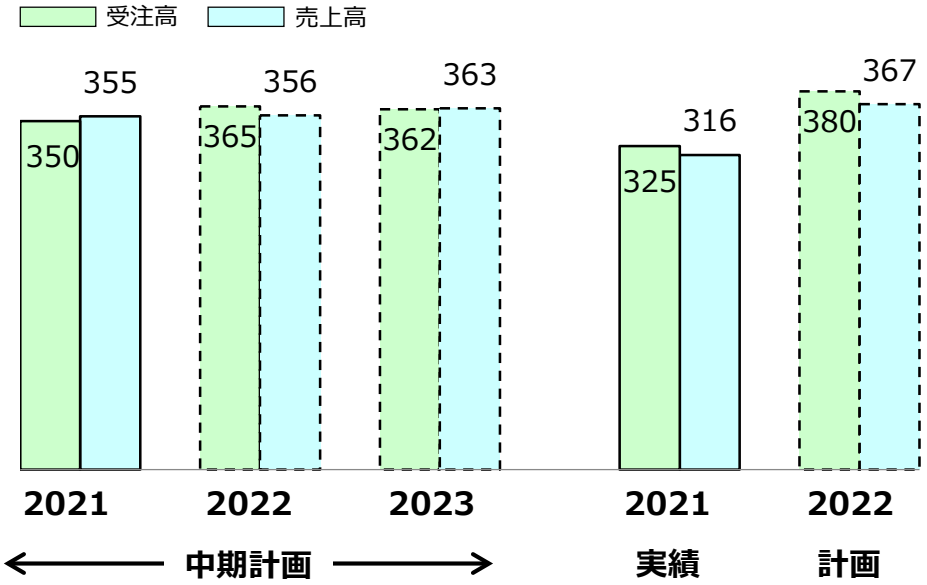
地盤改良事業

株式会社 不動テトラ

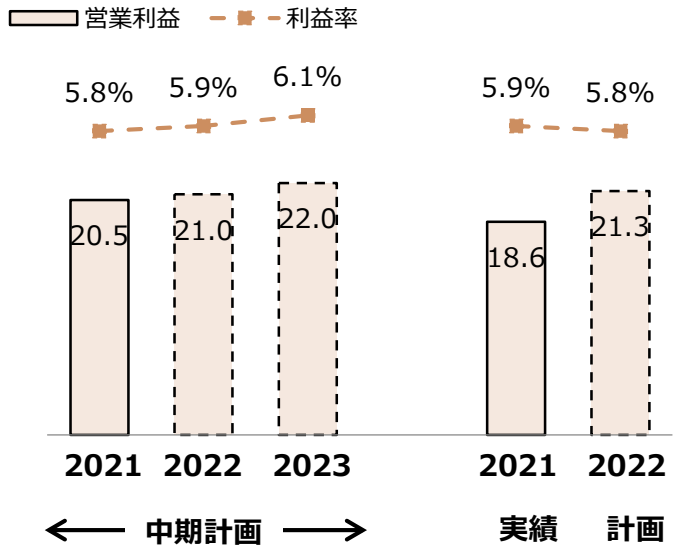
事業方針	多様化する社会的要求への対応に向け、新技術の開発・導入を軸とした持続的な事業の発展と周辺事業領域の更なる拡大
主な事業戦略	➤ 主力工法の改善改良による競争力アップと事業量の確保 ➤ 海外事業の安定化 ➤ 新技術・新工法の開発・導入による周辺事業領域の拡大 ➤ 利益体質の更なる向上 ➤ 人材の確保・育成と働き方改革への対応

◆ 年度別数値目標　（単位：億円）

【 受注高・売上高 】



【 営業利益・率 】

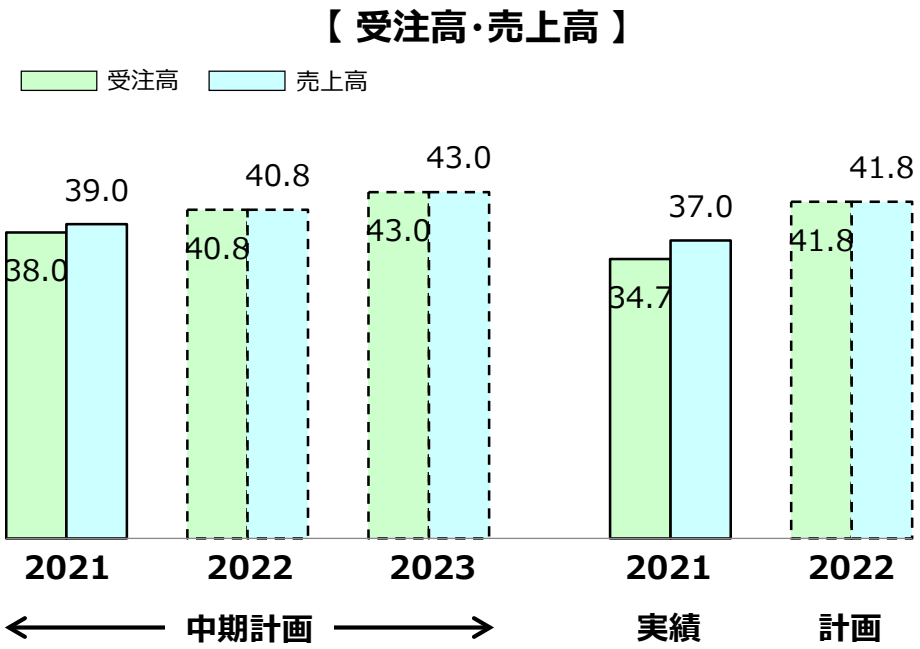


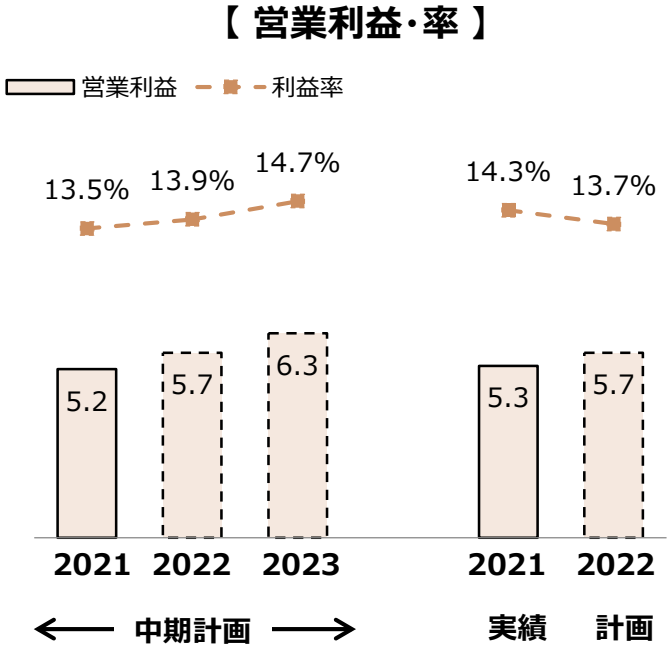
ブロック事業

株式会社 不動テトラ

事業方針	技術に裏付けされた製品により安定した収益を図り、ブロック事業のリーディングカンパニーを堅持する。事業フィールド：「防災・減災」「環境」「海外」
主な事業戦略	➤ 分野別シェアの維持・拡大を図るとともに新市場へ参入し、トップシェアを堅持する ➤ 収益力の向上 ➤ 商品販売事業での長期的収益確保 ➤ 海外展開　　➤ ESG経営を意識した企業価値向上への寄与

◆ 年度別数値目標　（単位：億円）





中期経営計画１年目の振り返り

株式会社 不動テトラ

◆基本方針

基本方針１	持続的な成長に向けた戦略的投資及び事業領域拡大を促進する
基本方針２	経営理念を基盤としたESG（環境・社会・ガバナンス）経営の実践により社会に貢献する企業グループを目指す
基本方針３	資本コストを意識した経営を実践する

◆76期の結果

項目		目標	76期目標	76期結果
業績目標	3ヵ年での営業利益	120億円以上	38億円	33億円
資本効率目標	自己資本当期純利益率（ROE)	8%以上	8%以上	7.0%
株主還元目標	配当性向	40%程度	40%程度	44%

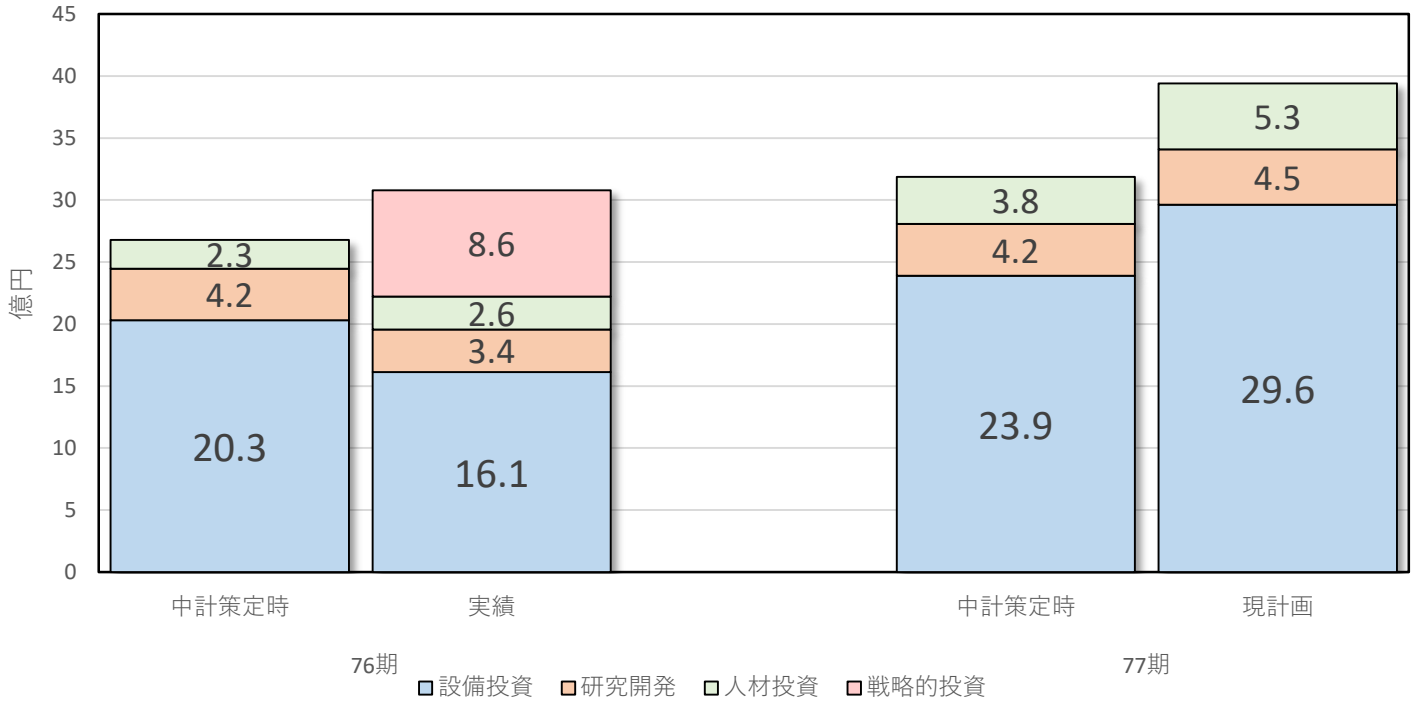
76期目標に対しては未達ですが、残り２ヵ年で中計３か年の目標達成を目指します

株式会社 不動テトラ

◆投資方針

『成長投資と株主還元を両立』

- 成長投資に必要な資金は臨機応変に財務レバレッジを活用
- 余剰資金が発生した場合には、自社株買いなどにより機動的な還元を実施
- 緊急事態に備え適正な流動性の範囲でオンバランスの現預金等を確保



投資の状況

※戦略的投資は計画に含まれていません

◆主な投資

項目	主な投資	内容	金額（億円）
設備投資	地盤改良施工機	施工機の更新投資ほか	16.1
	東京機械センター	建替え、BCP対応	
	型枠賃貸	能力増強、更新投資	
	総合技術研究所	平面水槽	
	その他		
人材投資	中途採用	13名の採用	2.6
	人材育成	キャリアアップ研修の充実	
	その他	健康経営宣言	
研究開発	AI、ICT関連	ICT施工への対応	3.4
	ESG関連技術の開発	カーボンニュートラルへの対応	
	その他		
戦略的投資	米国関連	AGI社との資本業務提携ほか	8.6
合計			30.8

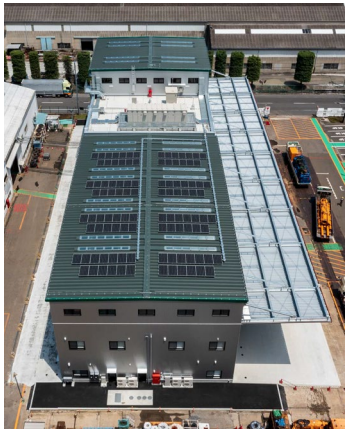
◆東京機械センターの建替え、耐震化

東京機械センターの第１工場の建替え、事務所棟・第２及び第３工場の耐震化工事が完了しました。第１工場建替えの主な目的と期待する効果は以下の通りです。

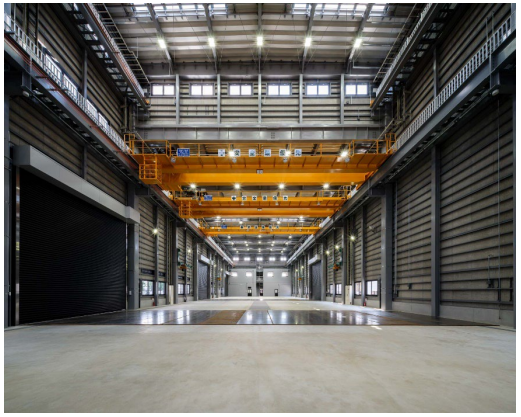
(1) 耐震化実施による社員の安全確保、巨大地震発生時の事業継続性の確保
(2) 水害対策実施による社員の安全確保、水害発生時の事業継続性の確保
(3) 作業効率改善

第１工場全景

第１工場正面



第１工場
（太陽光パネル等）

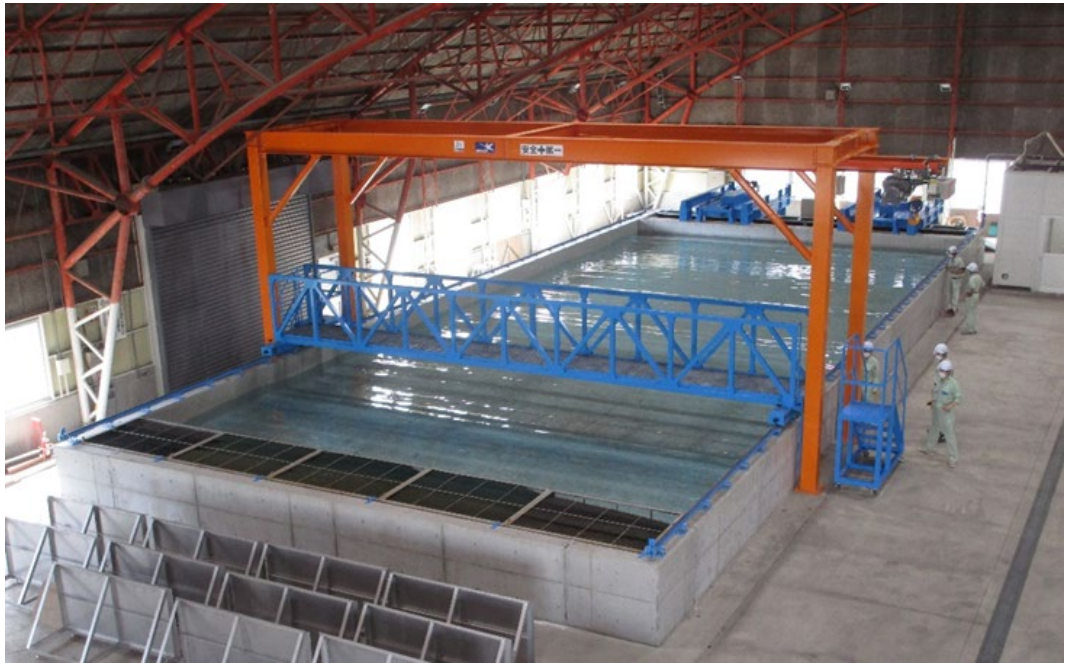


第１工場内部

◆総合技術研究所：平面水槽

プール状の造波水槽である平面水槽を第2実験棟内に新設しました。

平面水槽には不規則波造波機が取付けられており、現地の波浪状況を広域にわたり再現することができます。また、デンマークのオールボー大学で開発された最新鋭の反射波吸収式造波システムを導入し，高精度な造波が可能です。



水槽諸元	平面水槽
長さ×幅×高さ	25m×10m×1.0m
最大発生波	H=30cm, $H_{1/3}$=15cm

【人材投資】

株式会社 不動テトラ

◆従業員数の推移

働き方改革の推進と業容の拡大・安定を目指して、採用を促進し、従業員を増やしています。

	2017	2018	2019	2020	2021
従業員数(連結)(人)	851	864	873	951	965
新卒採用(連結)(人)	23	39	38	38	41

◆「健康経営優良法人2022」認定

社員の健康は企業経営における最優先事項の一つであり、社長をトップの健康経営推進責任者として、健康保険組合や産業医・看護師、労働組合等と連携した健康経営企業内推進体制を整え、健康経営を実践していく健康経営宣言のもと、日本健康会議より「健康経営優良法人2022」の認定を受けました。

●定期健康診断の受診率100%
●二次検査受診率80%
●生活習慣病などの疾病予防のための運動指導・栄養指導
●職場における健康増進活動　等

2022
健康経営優良法人
Health and productivity

◆「えるぼし」認定

「えるぼし」は、「女性活躍推進法」に基づき、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、一定の基準を満たし、女性の活躍推進に関する取り組みの状況が優良な企業に対して、厚生労働大臣が認定するものです。
当社は5項目すべての基準を満たしたことで、**「認定段階3（3つ星）」**の認定を受けました。

女性が活躍しています！

◆シニア層の活躍推進(社員の定年延長)

・社員の**定年を60歳から65歳に引き上げ**
（60歳定年を選択できる選択定年制）
・66歳～70歳の間はシニア社員として再雇用制度を導入
フルタイム以外の働き方（短時間、短日勤務）を選択可能

◆研究開発と知的財産について

部門	主な研究テーマ	76期特許 新規出願件数	76期特許 新規登録件数	累計特許 保有件数
総合技術研究所	■海底鉱物資源の揚鉱技術の研究	5	2	4
	■グリーンインフラを用いた海岸保全技術の研究			
	■CO2による土壌の改良に関する研究			
土木	■除染土壌の減容化処理技術の開発	2	3	49
	■ICT施工（海洋）に関する管理システムの開発			
地盤	■地盤改良のICT生産性向上に関する技術の開発	10	21	189
	■環境負荷を低減した地盤改良技術の開発			
ブロック	■数値解析に基づく波浪と構造物の相互作用の研究	3	3	20
	■ICTを活用した生コンクリート打設機の開発			
	■消波･根固ブロックによるブルーカーボンに関する研究			
全社累計		20	29	262

※総合技術研究所単独の集計は2020年度より開始

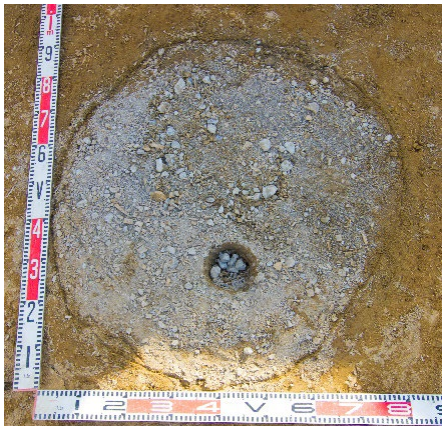
◆カーボンニュートラルへの取組み（ネガティブエミッション技術）

砂地盤の液状化対策を応用した炭素貯留技術の開発に着手しました。バイオマス混合材料をサンドコンパクションパイル（ＳＣＰ）工法の中詰め材として地盤中に打ち込み、液状化対策を行うと同時に炭素を地盤中に貯留することが可能になります。

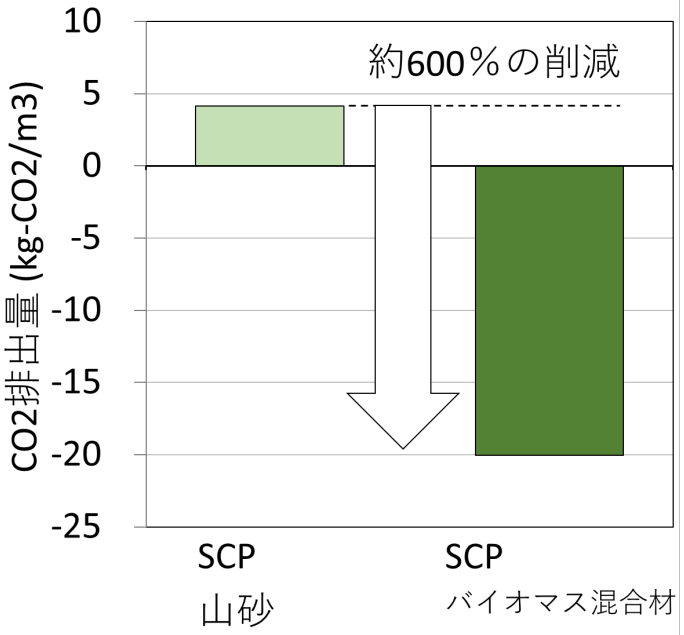
バイオマス材料（竹チップ）

バイオマス混合材料製造状況

SAVEコンポーザー施工状況



掘削して確認した出来形



【戦略的投資】

◆米国AGI社への出資

米国で事業展開する当社の100%出資子会社であるFudo Construction Inc.（以下「FCI」）は、米国カリフォルニア州の地盤改良会社である Advanced Geosolutions Inc.（以下「AGI」）の保有株式の49%を取得し、資本業務提携契約を締結しました。

AGI社年次総会での当社プレゼンの実施状況

新設されたFCI、AGI両社共有の機材センター

【カーボンニュートラルへの取組み】

◆総合技術研究所で再生可能エネルギー由来の電力を使用

総合技術研究所においては、使用する電力の全てを再生可能エネルギー由来の電力としています。

また、現在施工中の自家消費型太陽光発電設備が完成した際には、総合技術研究所内で使用する電力の40%程度を自社設備で賄うことができます。

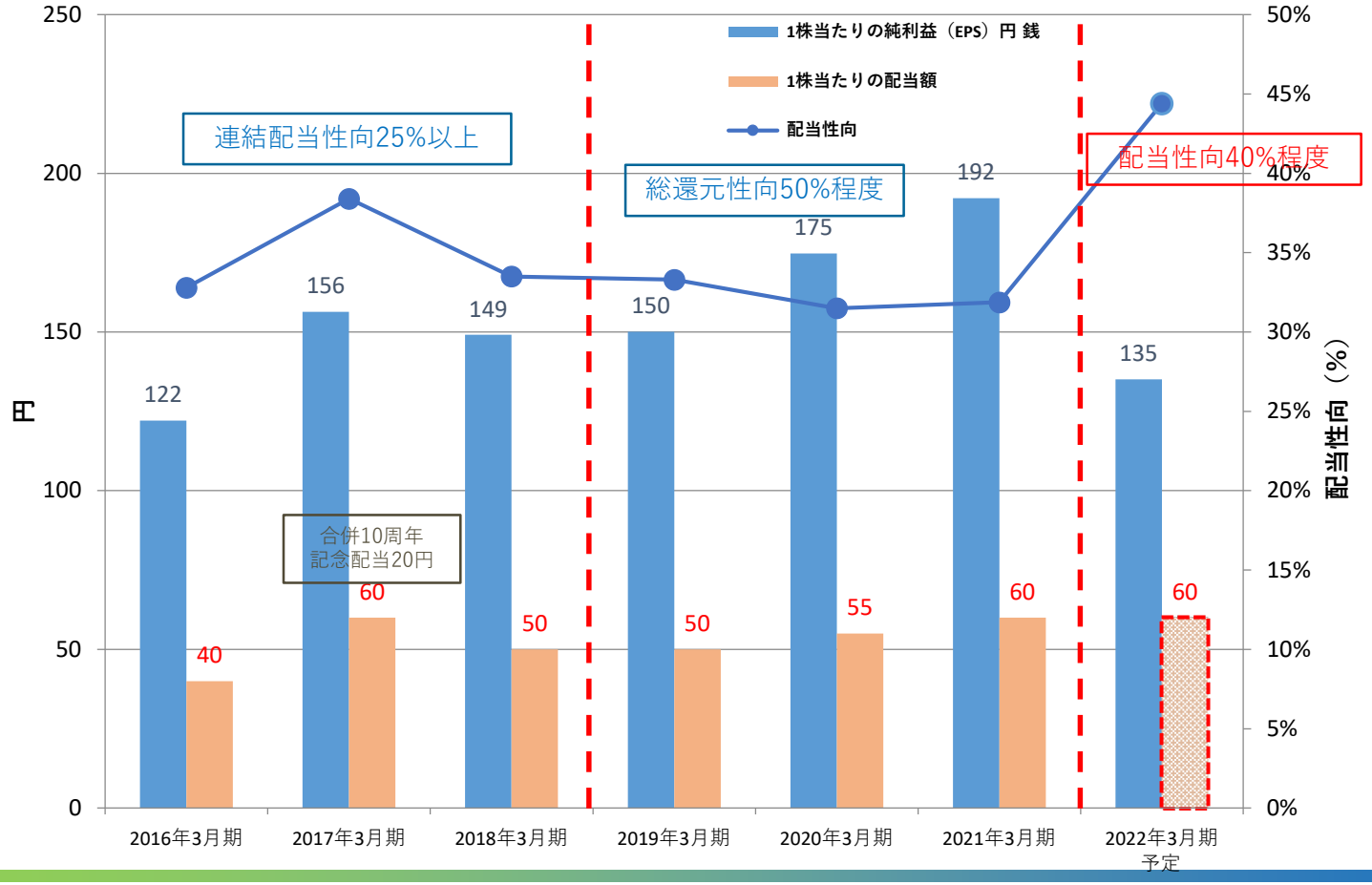
太陽光発電計測表示システム
（発電量、蓄電量などを研究棟受付前に表示）

【株主還元】

株式会社 不動テトラ

◆株主還元

株主の皆様に対する利益還元と経営基盤の強化を重要な経営課題と位置付け、安定的に株主還元を継続することを基本方針とし、配当性向40%程度を目標とします。
また余剰資金が発生した場合には自社株買いなど機動的に還元します。

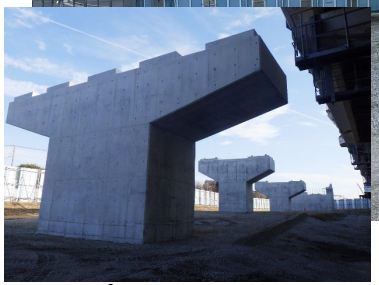


主な完成案件-土木事業

株式会社 不動テトラ

◆東京外かく環状道路　中央ジャンクションＡランプ橋 他２橋（下部工）工事

Eランプ拡幅橋



Aランプ橋

工事名称：東京外かく環状道路　中央ジャンクションＡランプ橋
他２橋（下部工）工事

事業主体：中日本高速道路株式会社

施工場所：起点：東京都世田谷区 終点：東京都調布市

◆北陸新幹線、福井大町高架橋

工事名称：北陸新幹線、福井大町高架橋

事業主体：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
大阪支社

施工場所：福井県福井市

主な完成案件-地盤事業

株式会社 不動テトラ

◆大西水処理センター建設工事その４

工事名称：大西水処理センター建設工事その４

事業主体：日本下水道事業団
（元請会社：桜井工業株式会社）

施工場所：愛媛県今治市

◆R2東関道築地地区地盤改良その1工事

工事名称：R2東関道築地地区地盤改良その1工事

事業主体：国土交通省 関東地方整備局
（元請会社：キムラ工業株式会社）

施工場所：茨城県潮来市

主な完成案件-ブロック環境事業

株式会社 不動テトラ

◆阿武隈川上流鏡石･矢吹･玉川地区掘削等工事
（２t型テトラポッド)

工事名称：阿武隈川上流鏡石･矢吹･玉川地区掘削等工事
（２t型テトラポッド)

事業主体：国土交通省東北地方整備局

施工場所：福島県岩瀬郡鏡石町～西白河郡矢吹町

◆金沢港（大野地区）防波堤（西）（改良）消波工事
（６５ｔ型ドロスⅡ）

工事名称：金沢港（大野地区）防波堤（西）（改良）
消波工事（６５ｔ型ドロスⅡ）

事業主体：国土交通省北陸地方整備局

施工場所：石川県金沢市

主な受注工事

株式会社 不動テトラ

工事名称	事業主体	施工場所
北海道新幹線札樽トンネル（星置）対策土受入地工事（1期施工）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (元請会社：鹿島・岩田地崎・荒井・森川特別共同企業体)	北海道小樽市
鳥海南バイオマスパワー新設工事	鳥海南バイオマスパワー株式会社（元請会社：本間組・菊地建設特定市営建設工事共同企業体)	山形県飽海郡遊佐町
R3荒川中堤西小松川町地区護岸工事	国土交通省関東地方整備局	東京都江戸川区
金沢（福浦Ｂ）地区水際線護岸災害復旧工事（その１０・被覆工）	横浜市	神奈川県横浜市
名古屋本線等　知立駅付近立体交差事業に伴う本線土木(その11)工事	名古屋鉄道株式会社	愛知県知立市
令和３年度　霞ヶ浦地区北ふ頭護岸築造（地盤改良）工事（その１）	四日市港管理組合 (元請会社：五洋・高砂・松岡特定建設工事共同企業体)	三重県四日市市
高知自動車道　領石川橋他3橋耐震補強工事	NEXCO西日本	高知県香美市
令和３年度大分港(大在西地区)岸壁(-9m)地盤改良工事	国土交通省九州地方整備局	大分県大分市
AMAZON倉庫新設地耐力・沈下対策	Amazon→Layton Construction→AGI-Fudo JV (子会社の受注)	米国オレゴン州ウッドバーン

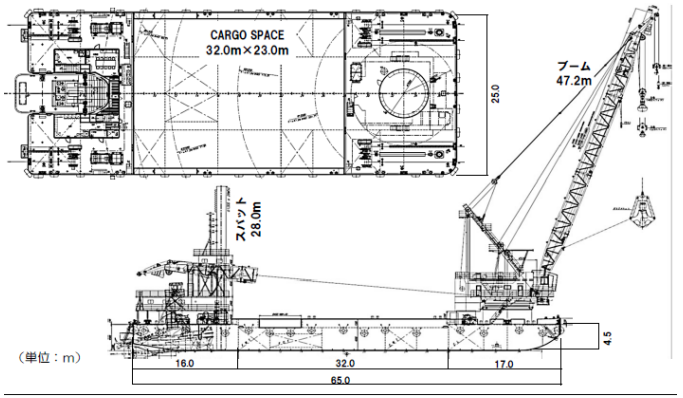
トピックス　-1　事業規模拡大への投資

株式会社 不動テトラ

環境性能の優れた起重機船（兼浚渫船）の建造

地球環境保全に配慮した新たな起重機船の建造を決定しました。2025年3月　完成予定。

船　種	全旋回400t吊起重機船兼グラブ浚渫船
仕　様	船体寸法　長65.0m×幅24.0m×深4.2m
	えい航船　押船:総ﾄﾝ数19ﾄﾝ-1,000*2PS
	揚重装置　最大荷重400t吊(ﾌﾞｰﾑ22m)
	そ の 他　Nox対応・ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ発電式



◎カーボンニュートラルへの対応
ハイブリッド蓄電システム

◎排ガス規制対応
Ｎｏｘ３次規制への対応

◎快適な居住スペース

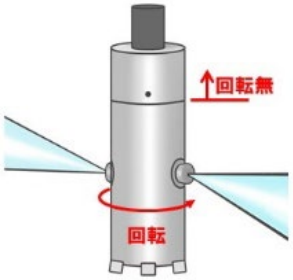
◎安全性能の向上

株式会社 不動テトラ

Mole-Eco Jet工法の開発

2021年12月に噴射エネルギーを利用した新発想の独自回転機構を有する工法「Mole-Eco Jet（モールエコジェット）工法」を開発し、対外発表しました。新発想の回転機構とは、同一線上にない噴射口（ノズル）から噴流した流体エネルギーの力により先端のみが自ら回転する機構です。これにより施工機の小型軽量化を実現し、建物の内部や構造物の地下空間、配管が密集している工場施設など、従来の工法では対応できない施工条件での施工が可能となりました。また、施工機の周囲にはクレーンや発電機などの機器を必要としないため、施工時のCO2排出量の削減にも寄与した環境対応型の工法となっています。

上から見た軸中心と先端ノズル



新発想の回転機構

高圧噴射の状況

人力運搬の状況

狭隘地での施工状況

建屋内高さ制限内での施工状況

トピックス -3　事業領域の拡大

株式会社 不動テトラ

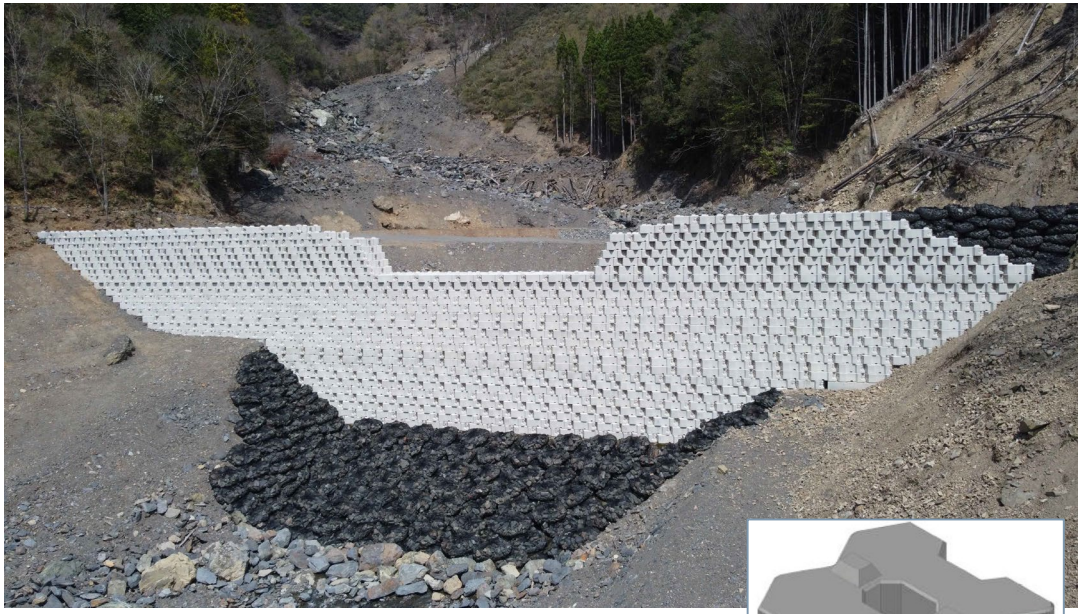
砂防堰堤工法において初の採用

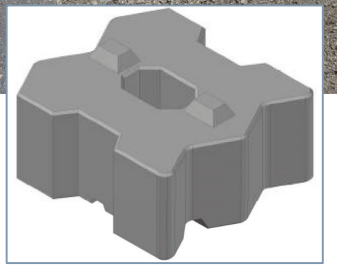
川辺川管内砂防保全工事でクラブロックS型が採用されました。
本ブロックは、ブロック上部の突起により任意の勾配で据付が可能で、砂防堰堤、護岸工などを対象として開発しました。
砂防堰堤を設置すると、その上流側に土砂が貯まり、河床や河岸の崩壊や洗堀を防止します。
川の勾配が緩くなることで水流が遅くなり、洪水時の異常な土砂流出を抑制することが可能です。

川辺川は、水質が良好な河川として有名で、アユ漁やお茶の栽培も盛んな地域ですが、古くより土砂災害が繰返し発生しており、土砂災害を防ぐための砂防事業が進められています。

本施設は本堤設置までの応急対策工としてクラブロックS型（２t型）を約3,000個使用したブロック堰堤で、設置・撤去が容易で短期間で施工可能、本復旧後にはブロックは護床工などで流用が可能です。

当社は、今後もこのブロックの特長を生かし、積極的に治水事業等へ参画してまいります。





クラブロックS型(2t型)
w1680×D1500×H500mm

事業主体：国土交通省九州地方整備局川辺川ダム砂防事務所
施工場所：熊本県球磨郡

株式会社 不動テトラ

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校への目杭の発注(ソイルテクニカ)

ソイルテクニカでは社会貢献活動の一環として、1995年5月から鹿児島大学教育学部附属特別支援学校に地盤改良の杭の打設目印となる目杭を発注しており、今年で27年が経過しました。
　今年も東京および大阪機械センター宛に、同校からお礼状と生徒の皆さんが作業学習の一環として制作された干支の置物をお送りいただきましたのでご紹介します。めぐい作業は生徒の皆さんの育成の機会として活かされ、目杭の購入費は校外での買い物学習や公共施設の利用学習に活用されています。

報酬の活用

令和４年３月吉日

株式会社　ソイルテクニカ
東京機械センター所長　様

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校
校　長　　寺　床　勝　也

めぐい作業について（御礼）

春暖の候，貴職におかれましては，ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。
さて，本校中学部及び高等部では，知的障害のある生徒の社会的自立，職業教育の推進を目指し，「作業学習」に取り組んでおります。貴社のお計らいによる「めぐい作業」は，働く態度を育成するために必要な「生徒同士の関わり」，「材料の受渡しの際の連絡や報告」，「一人一人に応じた工程の設定」，「出来高や収益に対する意欲」などの面で，他にはない貴重な作業種となっています。貴社の御厚情を，校外での買物学習や公共施設の利用の学習などに役立たせていただいており，毎年の変わらぬ温かい御協力に対して心から感謝申し上げます。
つきましては，生徒たちが作業学習でめぐい製作に取り組む様子や，めぐい製作を通していただいた報酬を基に校外学習等を楽しむ様子の一端を簡単に紹介させていただきます。
今後とも学習活動への御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに，貴社のますますの御発展をお祈り申し上げます。

めぐい製作の様子

生徒たちの実態に応じて担当する工程を分担したり，補助具を使ったりして製作に取り組んでいます。製作に係る工程が分かりやすいため見通しをもって取り組める生徒が多いです。中学部から本校に在籍している生徒は，高等部までの６年間めぐいの製作に取り組むことができるので上級学年になるごとに，新しい工程に挑戦するなど，生徒たちが自身の成長を感じられる機会にもなっています。

めぐい製作でいただいた報酬を基にした活動

←ネットショッピングで注文した商品の届き，皆で開封している様子

ホテルに出掛けてテーブルマナー教室に参加する様子→

めぐい製作でいただいた報酬（生徒たちに「ボーナス」と称して支給）を基に買物等を楽しめる活動を設定しています。本年度は，コロナ禍で校外学習を思うように実施することが難しかったですが，ネットショッピングを活用して買物を楽しんだり，ホテルでテーブルマナー教室を体験したりすることができました。自分たちが働いたことで得た報酬であること実感できる機会になっています。

校長先生からのお礼状

横須賀市野比東小学校で「消波ブロックの役割と海の防災」出張授業を実施

2021年12月3日、横須賀市立野比東小学校で小学4年生約70人を対象に出張授業を実施しました。
今回参加した子どもたちは総合学習で「海の防災」をテーマに継続的な学習を行っています。
出張授業でテトラポッドの役割や海の災害・防災事業について、目で見て、触って体感できるプログラムを実施することで、海が身近な子どもたちに、身の回りの自然災害、防災事業・技術を伝えることができました。
また後日、出張授業を受けた子供たちから、お礼状をいただきました。

●参加した子どもたちからの感想
「普段、通学中に目にしている、消波ブロックの役割がよく分かった」
「横須賀の海（三崎）でも一番大型のテトラポッド（80ｔ）が使われていると聞いて驚いた」
「テトラポッドを実際に作ったり、積上げたりして楽しかった」
「昔の野比海岸と今の野比海岸の違い（海岸が少なくなってきた）に驚いた」

お礼状の掲示

お問い合わせ先

株式会社 不動テトラ

株式会社不動テトラ
経営企画部　CSR推進室　鈴木由美
TEL：03-5644-8575

（注意事項）

本資料に記載されている戦略や計画、数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。

Memo